



1



2

「カレンダーのようでカレンダーじゃない」



3

「よみもの の ようで、よみもの じゃない！」
それはなにかとたずねたら……

これが……〈楽知んカレンダー〉！！

このカレンダーづくりは1700年代アメリカの科学者であり、建国の父でもある、ベンジャミン・フランクリンのマネ。



4

フランクリンは若いころは印刷業をしていたが、1732年末に『貧しいリチャードの暦』という暦を創刊。ことわざや短い教訓が中にびっしり書き込まれていた。これが人気で1万部も売れたそうだ！

フランクリンをまねて、2001年からつくりはじめたのが『楽知んカレンダー』。

【補助解説】ベンジャミン・フランクリン（1706～1790）といえば、「タコをあげて雷が電気であることを証明した」という話があるのですが、電気学の開拓者というだけでなく、暖炉を発明したり、図書館をつくったり、アメリカの独立のときに大きな働きをしたりと、じつにたくさんの仕事をしてきた多才な人です。そんな彼ですが、若いころは印刷業をしていました。そして、彼が26歳の1732年末に『貧しいリチャードの暦』という暦を創刊し、その後25年間も発行をつづけたそうです。



5 一度手に取るとやみつきになる，この『楽知んカレンダー』。毎年かならず手に入れたい！！根強いファンに支えられています。

さらに，お知り合いへのお歳暮，お年玉，卒業・入学のお祝いなどプレゼントしたい。

もっとたくさんの人に知ってもらいたい。

そんなアツイ人が続々あらわれています。

そこで.....カレンダーづくりの.....



6 クラウドファンディング！！

「来年のカレンダー」を先行予約。事前に資金提供しすることで，カレンダーづくりのオーナーに加わろう，というしくみです。

その名も「曆人（こよみびと）！」

【補助解説】1700年代当時，本はとっても貴重なもので，1冊5万円くらいしました。出版するのに，たくさんのお金が必要でした。そんな中，長年に渡り，市民相手に科学実験講座を開催していたデザギュリエは，この講座の本を出版することにしました。その際に，〈「予約購読者＝出版を応援

する人」を募り、この出版事業に出資してもらおう」というしくみをつくり、できあがった本には、その「予約購読者」の名前を載せました。

デザギュリエの実験講座は、とても評判が良かったので、たくさんの方が予約購読の申込みをしたことでしょう。おかげでデザギュリエは、無事に科学実験講座の本を出版することができました。これぞ、クラウドファンディングの原点です。

7

暦人には特典もあります！
よくみてください。

暦人の4つの種類	① 1冊暦人	② 3冊暦人	③ 10冊暦人	④ 30冊暦人
カレンダー金額	660円(税込)	660円(税込)×3	660円(税込) ×10	660円(税込) ×30
送料	無料サービス	無料サービス	無料サービス	無料サービス
合計金額	660円	1980円	6600円	1万9800円
特典1 暦人クレジット	○ (1名分)	○ (1名分)	○ (1名分)	○ (1名分)
特典2 誕生日マーク	なし	○ (1名分)	○ (1名分)	○ (1名分)
特典3 『楽知んカレンダー』プレゼント	なし	なし	+ 2冊	+ 6冊

<https://luctin.org/koyomibito>



<https://luctin.org/koyomibito>

8

お申込みは、楽知ん研究所ウェブサイト
<https://luctin.org/koyomibito>
より。

QRコードからも申し込めます！！